

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	校長氏名	沼本 慎二	生徒指導主事氏名	吉岡 知美
-----	-------------	------	-------	----------	-------

## 取組事例名 『リーダー指導を軸にした体育祭と文化祭に向けた取組』

## 取組のねらい『キーワード リーダー性の伸長』

本年度本校は耐震工事の関係で体育祭と文化祭の両方が2学期に実施となった。9月の体育祭から10月末の文化祭といった短い期間での開催となったが、反対にこの条件を生かすことを考え、体育祭でリーダーとしての動きを理解させ、文化祭で自主的に考え行動していく力をつけることをねらいとした。

## 取組の具体的内容『キーワード リーダーシップとフォロアーシップ』

今年度は体育祭で、昨年度まで全学年縦割り練習をしてきたソーランをあえてクラスでの取組に変更し、各クラスのリーダーの動きを前面に押し出させる方向で指導に入った。従って前年度まで組集団の演技であったものを各クラスでの発表という形に変更した。

まずは各クラスで4～5名のソーランリーダーを立候補で選出し、夏休み中に5クラス全体のリーダー会を実施し、全体リーダー会でリーダー長を選出した後、学年練習・クラス練習・リーダー練習・全校練習といった形で計画的に取り組みさせた。学年やクラスで講師を迎えて、基本の踊り方の指導を受け、一人ひとりがしっかり踊りの形を覚えきるまで何回も練習を繰り返させた。各クラスのリーダーは事前にリーダーだけのソーラン練習会を持つことで、全体の前で踊れる力量を身につけ、クラスの一人ひとりがきちんと踊れるように助言し指導する立場でクラス練習にのぞませた。

基本の形を学年やクラス練習で覚えたのち各クラスで考えた隊形練習に入り完成後、学年内での交流・全校での交流をする流れで練習させ、体育祭での演技発表につなげていった。

この取組で、リーダーとしての動きを学び、次の文化祭の合唱コンクールでのパートリーダーを体育祭のときより高い位置づけのリーダーとしての意識と動きを持ってのぞませた。ソーラン指導でリーダー的な役割をした生徒がさらに向上心を持ち、合唱のパートリーダーになることもあったが、リーダー的な動きをした生徒たちをフォローする力を高めるような場の設定を仕組むことで生徒の主体性を育てる動きを作ることができた。



### 取組の課題・創意工夫『キーワード ねうちづけし、効果的に伝える 』

取組の過程では、取組内容に一生懸命にがんばりきる生徒もいれば、あまり参加する意欲が無く、リーダーの指示に従わず文句を言ったりする生徒も出てくる。リーダーとして、どのような言い方で声かけをしたり、全体や個に対する評価をしていくべきなのかを教師側が指導したり気づかせたりすることが課題となってくる。思ったように周囲の生徒が動いてくれない時が生徒の成長の大きなチャンスだと捉え、彼らを支えていくことは当然として、リーダーとして周囲の生徒に訴えたいことや伝えたいことをどのように表現させたらよいかを考えさせることが重要となる。(リーダー研修会の実施) 以上のような活動で得たことを基にして、効果的な練習途中の言葉かけや、終了後の評価などで全体の士気を高めたり、細かい点を観察させ、成長が見られる部分を評価し、生徒自身の言葉で全体に伝えさせる場を確保しながら、教師による小さな成長を見逃さない評価を、リーダー・全体生徒に対して行っていくことが大切である。

### 取組の成果(効果)『キーワード 共感とわかちあい 』

ソーラン・合唱コンクールの取組の過程で、リーダーが頑張るという意識以上に、リーダーの中から「クラスのみんなで一緒にがんばりたい」といった言葉が出てくるようになった。リーダー同士もクラスを超えていい意味での刺激になったことはもちろん、しんどい部分を分かち合えたり、リーダーとしてどのように行動すべきか、お互いの良き相談相手になった。体育祭で学んだことが、次の文化祭での合唱コンクールへの取組意欲の喚起にもつながり、前のリーダーが現リーダーを支える雰囲気が生まれたり、平素の掃除や当番活動においても協力し合っていこうとする姿が増えていった。

### 今後の展開『キーワード 日々の生活の中に拡げる 』

今回の取組は、クラス集団をベースとして、人前に立ってリーダー性を発揮するための場をできるだけ多くの生徒に提供することをねらいとして取り組んだが、今後は生徒会メンバーを中心に学年のリーダーとして取組むだけでなく、来年度の廿日市中学校を担っていくため全校生徒を巻き込んだ取組を企画運営していく力をつけさせなければならない。あいさつをもっと活発にさせることと無言そうじの完全実施に向けて、具体的な取組を展開していきたい。

### 他校へのアドバイス『キーワード 子どもたちをしっかりと見つめ、いっしょに動く 』

我々は、日々、問題行動を繰り返す生徒指導に追われ、前向きにさまざまな取組に尽力してくれる生徒たちと高い目標に向かってじっくり取り組むことが困難となる状況があるかと思います。本校も以上のような状況ではありますが、苦しいときこそ、教員がベクトルをそろえて前進していくことはもちろん、生徒の力を信じて高い目標に向かって一緒に進んでいきたいものです。

生徒は教師が関わる以上に、他の生徒からの真剣な関わりがあれば、更により良い方向へ変容していくはずで、課題を抱えた生徒たちも周囲の生徒たちから認められることによって、自己有用感を高め、自分の本来進むべき道に向かっていけると考えます。我々はまず生徒同士が一生懸命に活動し、そして語り合える場を提供し、教員はその活動をよく観察し支援しながら、生徒一人ひとりの行動や言動を価値化し伝えていかなければと思っています。